

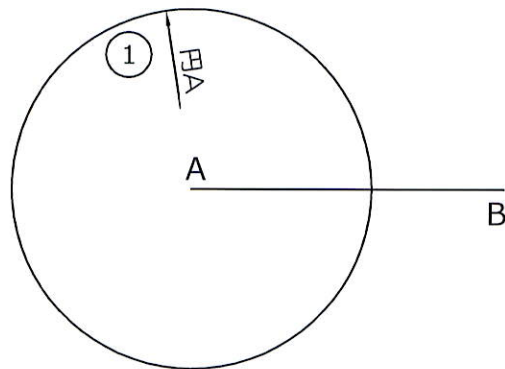
[01] 線分を二等分する



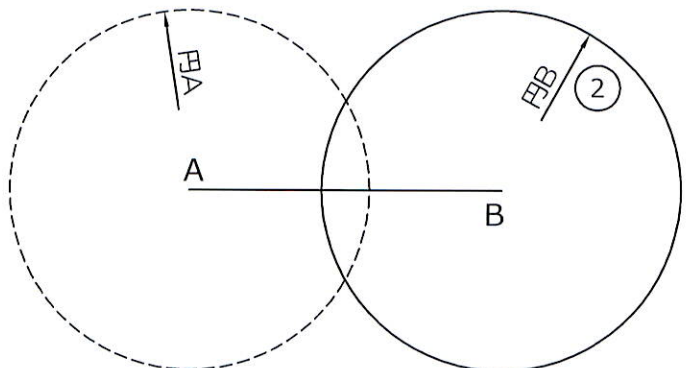
■ 用器画法は、定規、コンパス、曲線定規、補助道具を用いて図形を描画することです。
 ■ 用器画法の手法で、CADの操作方法とコマンドの使い方、作図補助機能の使い方を実践的に、効果的に習得できます。

[解答例] 01 線分を二等分する

- 1) 端点Aを中心として、線分ABの半分より大きめの任意の半径で円を描く 《円A》 ①

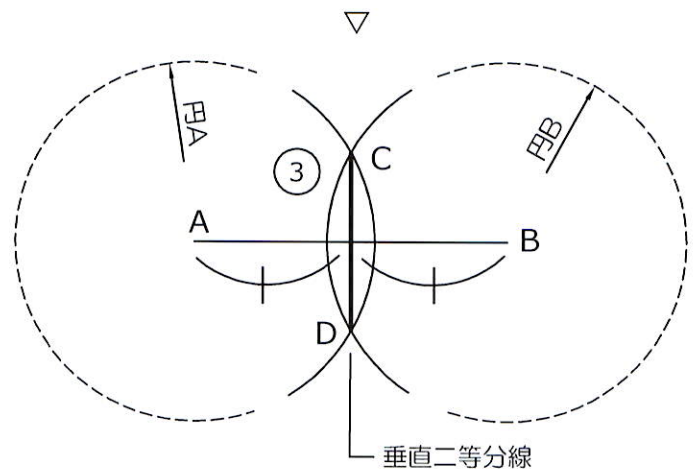


- 2) 1) と同じ方法で、端点Bを中心として、円Aと同じ半径で円を描く 《円B》 ②



- 3) 円Aと円Bとの交点を、C、Dとする

- 4) 交点C、交点Dの2交点間に、線分CDを描く 《線分CD》 ③



- 4) 線分ABに対して、線分CDが、垂直二等分線となる

[終了]

[Enter] キーまたは [Esc] キーを押す。

[コマンド]

線分

円

半径寸法

[作図補助機能]

端点

交点